

掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ <http://www.csj.jp/kaimu/index.html> をご参照下さい。

徳山科学技術振興財団

平成 25 年度国際交流助成の募集

徳山科学技術振興財団では平成 25 年度国際交流助成の募集をしています。1. 助成対象：新材料分野及びこれに関連する技術分野の海外にお

ける国際集会（平成 25 年 6 月～平成 26 年 5 月開催）などに参加する研究者（ただし、国内の大学等及び公的研究機関に常勤する 45 歳未満の者）。2. 助成額：1 件 30 万円まで（開催地により異なる）、10 件程度。3. 応募方法：所定の申請書に必要

事項記載。学長、学部長または研究所長の推薦が必要。4. 募集期間：平成 25 年 2 月 1 日（金）～3 月 29 日（金）正午必着。5. 問合せ先：105-8429 港区西新橋 1-4-5 トクヤマビル（公財）徳山科学技術振興財団 電話(03)3597-5072 FAX(03)3597-5009 E-mail: zaidan@tokuyama.co.jp 詳細は HP (<http://www.tokuyama.co.jp/zaidan/>) をご覧下さい。

公益信託 ENEOS 水素基金

平成 25 年度募集

1. 助成対象研究分野（詳細は募集要項で確認）：水素エネルギーの製造・輸送・貯蔵並びに CO₂ 固定化に関連する技術分野で、独創的かつ先導的な基礎研究。2. 助成対象者：大学、公的研究機関等。営利を目的としない国内研究機関に所属する者。複数の研究者による共同研究も

認める。特に若手研究者（40 歳未満）からの応募を期待する。3. 助成の対象となる研究の実施期間：平成 25 年 9 月 1 日から平成 26 年 8 月末日。4. 助成金額・件数：5 件程度 総額 5,000 万円以内（1 件 1,000 万円を限度）。5. 応募締切日：平成 25 年 5 月 10 日（金）必着。6. 応募方法：所定の申請書を受託者（下記）宛に提出。7. 受託者（申込・問合せ先）：105-8574 港区芝 3-33-1 三井住友信託銀行 リテール受託業務部 公益信託グループ（担当：稲垣） 電話 03-5232-8911 E-mail Inagaki_Ayumu@smtb.jp。8. 募集要項・申請用紙は下記の受託者 HP (<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>) からダウンロードして下さい。この公益信託は、JX 日鉱日石エネルギー株式会社の出捐により、平成 18 年 3 月に設定されました。

“掲示板”欄への掲載申込について

①掲載対象

- ①“掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限りです。
- ②掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③掲載は 1 回に限ります。
- ④講演会などの行事の開催案内は掲載できませんので、それらは本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご掲載下さい。

②字数制限と掲載例

- ①原稿は 600 字以内で作成して下さい（英文は和文の 0.55 字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ②掲載例として最新号を公開しております。<http://www.csj.jp/journals/kakou/> をご覧下さい。

③原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月 25 日です。前月 26 日から当月 25 日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ②掲載月以降の掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。例)3 月 26 日～4 月 25 日までに投稿した原稿→6 月号(6 月 1 日発行)に掲載。

④原稿作成と投稿方法

- ①原稿は URL：[\(http://mailform.csj.jp/keijiban/\)](http://mailform.csj.jp/keijiban/) に専用投稿フォーマットがありますので、必ずそれを使用して原稿を作成して下さい。
- ②専用フォーマット使用方法
 - A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - B) 機種に依存する文字の注意：機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ；ア辨外、記号（約物）；、。」「（／ 等
- ・ローマ数字；I II III IV、丸数字；①②③④

【使用可能な文字例】

- ・全角カナ、全角記号、アルファベットの I, V, X, Y を組み合わせてローマ数字を表現。

・文字の代わりに (1) (2) の表記を使用。

・組文字は全角（株）（有）mm での表記にする。

- C) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で印し、受理メール（受付番号付）をプリント出力して●印の指示を行い FAX にて編集部宛送って下さい。その際、投稿フォーマットの“連絡事項”に必ずその旨を表記して下さい。
- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML 形式）をして下さい。

【見本】・上付；P²⁺→P²⁺

・下付；CO₂→CO₂

・イタリック；*italic*→<I>italic</I>

- ③原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックすると別ウィンドが開きます。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はありませんので間違えないように作成して下さい。

- ④電子投稿が完了しましたら、自動的に受理通知メールを発信人宛に返信します。受理メールにて、受付番号、掲載予定号並びに投稿原稿内容が確認できます。受理通知が届かない場合は、正常に原稿が受理されていない場合がありますので、必ず受理通知をご確認下さい。

- ⑤投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑥送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ①当月 25 日まで；URL フォーマットの“連絡事項”欄に先に受け取った原稿受理通知番号、先の送信日付及び原稿差替えの旨を表記し再度送信して下さい。その際、FAX にて編集部宛その旨をご通知下さい。
- ②26 日以降の場合は原則として訂正は不可となります。

⑦問合せ・修正用 FAX 送信先

日本化学会編集部「化学と工業」誌担当宛
FAX(03)3292-6319